

乾湿対応焼却炉

YGR

Model

耐火レンガ式

Premiumシリーズ



乾湿対応焼却炉
ハイグレードモデル

燃えにくい湿った焼却物(生ゴミ、小動物)を
乾いた焼却物(廃プラ、木くず等)と合わせて
燃やすことで補助燃料の大幅な低減を
実現したハイグレードモデル

▶ 高い燃焼効率

炉内側壁のエア供給をバランス良く配置することで
焼却物を高い燃焼効率で焼却します。

▶ 湿った焼却物に対応

助燃バーナーの装備で湿った焼却物を素早く乾燥
させて焼却します。また、乾いた木くず、廃プラ等と
合わせて燃やすことで乾燥用の助燃バーナーの
使用を減らすことで燃費の大幅な低減をします。

▶ ばいじんの捕集効率アップ

サイクロン集じん室の採用により、集じん能力が向上
しました。

▶ 耐久性アップ

耐火レンガと断熱ボードの二重構造で耐久性をアップ。

■ 本体価格

YGR-600M ¥5,500,000

(税込¥6,050,000)

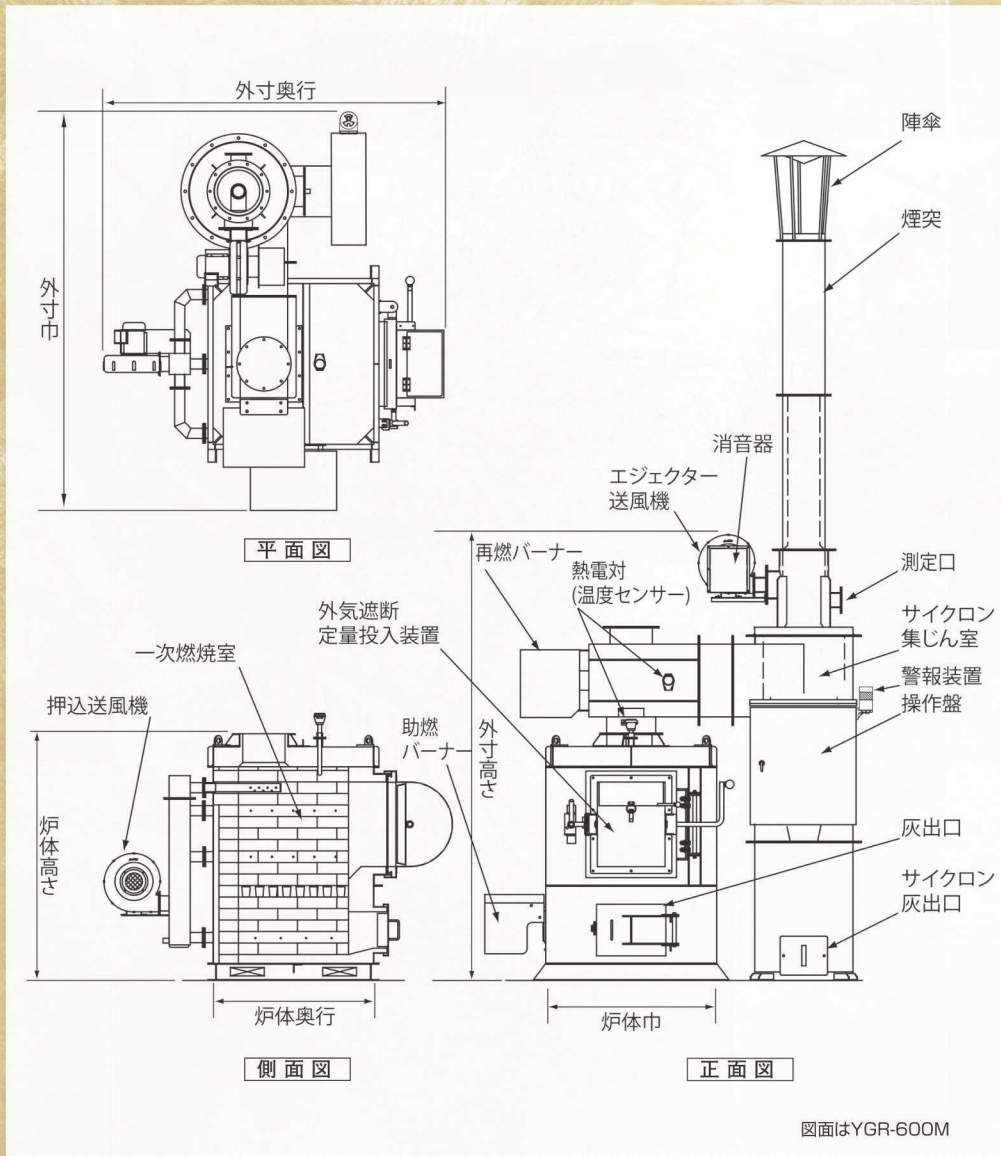
● 運賃・取付費が別途かかります。

届出
不要

構造基準適合保証

焼却炉の構造に関するすべての法規制に適合して
います。万一、行政からの指導があった場合、当社が
責任を負います。





図面はYGR-600M

■ 規制のポイント

- 政令第248号 平成23年4月1日施行
(帳簿を備えることを要する事業者)
 - 第六条の四 その事業活動に伴い産業廃棄物を生ずる事業者で政令で定める事業者は、次に掲げる
 - 一 その事業活動に伴って生ずる産業廃棄物を処理するために産業廃棄物処理施設又は産業廃棄物処理施設以外の産業廃棄物の焼却施設が設置されている事業場を設置している事業者
 - 二 その事業活動に伴い産業廃棄物を生ずる事業場の外において自ら当該産業廃棄物の処分又は再生を行う事業者(前号に掲げる者を除く。)
 - 省令第8号 平成14年12月1日施行
(廃棄物を焼却する焼却設備の構造)
1. 空気取入口及び煙突の先端以外に焼却設備内と外気が接することなく、燃焼室において発生するガス(以下「燃焼ガス」という。)の温度が摂氏八百度以上の状態で、廃棄物を焼却できるものであること。
 2. 燃焼に必要な量の空気の通風が行われるものであること。
 3. 燃焼室内において廃棄物が燃焼しているときに、燃焼室に廃棄物を投入する場合には、外気と遮断された状態で、定量ずつ廃棄物を燃焼室に投入することができるものであること。
 4. 燃焼室中の燃焼ガスの温度を測定するための装置が設けられていること。
 5. 燃焼ガスの温度を保つために必要な助燃装置が設けられていること。ただし、加熱することなく燃焼ガスの温度を保つことができる性状を有する廃棄物のみを焼却する焼却設備にあってはこの限りでない。

※赤字部分は平成16年12月10日一部改正

■ 装備

- 制御盤**
(温度表示・温度制御・停止タイマー)
- 操作方法**
省エネ機能付きバーナー
(ON-OFF制御)
高温異常警報装置(ランプ・ブザー)

■ 燃焼方式

火格子燃焼方式
オプション/投入扉ロック、給油口ロック、油タンク容量アップ

■仕様

型式	※1 焼却能力 (kg/h)	焼却炉寸法(mm)				火床面積 (㎡)	一次燃焼室容積(ℓ)	煙突(mm)		押込送風機出力(kW)	エジェクター送風機出力(kW)	バーナー(再燃/助燃)		電圧/電源 (V/A)	油タンク(ℓ)	重量(kg)
		外寸高さ×巾×奥行	炉体寸法高さ×巾×奥行	投入口たて×よこ	投入装置開口たて×よこ			地上高	外径φ			出力(kW)	※2 最大燃油量(ℓ/h)			
YGR-600M	16	2640×2230×2020	1460×950×950	500×400	250×400	0.42	290	4960	250	0.3	0.4	0.2/0.2	7.6/7.6	100/30	190	2600

※1 焼却能力は、動植物性残さの発熱量4.6MJ(1,100kcal)/kgをもとに算出しています。
 ※2 バーナー燃油量は、自動温度制御により低減されます。
 ※製品改良のための仕様を変更することがあります。 ※条例により、一部届出が必要な自治体もあります。

ご希望の方は、全国の展示会にて燃焼テストや実機がご覧頂けます。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。



本社 / 〒489-0889 愛知県瀬戸市原山町145番地

お客様窓口 ☎ 0120-21-3136 FAX(0561)21-3161

E-mail soumu@daito-co.com

北海道・東北・関東・信越・中部・関西・中国・九州

<https://www.daito-co.com>